

(集団研修 1) キャンプファイア

1 ねらい

自然の中で燃える火を囲み、仲間とともに楽しんで、友情を深める。

2 実施可能時期 4月～11月上旬

3 所要時間 90～120分

4 経費 燃料代(薪・灯油) 4,000円

5 プログラム立案の留意点

- (1) 全体の流れを考える(導入部・終末部を静かに行い、後半にクライマックスを。)
- (2) 班や係の活動を生かし、全員が参加できる内容にする。

6 準備について

- ・準備を始める前に、事務室に連絡をして倉庫の鍵と灯油(ペットボトル)を受け取る。
- ・消火のために、あらかじめホースを伸ばしておく。

(1) 係分担(例)

・営火長(ファイアチーフ)	1名	団体のリーダー
・進行係(エールマスター)	1～2名	進行担当、場面ごとの交代も可能
・火の神(火の親)	1名	火の使者、点火の言葉
・火の子(火の守)	数名	班の代表者など、誓いの言葉
・営火係(ファイアキーパー)	数名	火の管理や消火の担当
・誘導係	1～2名	火の神、火の子の世話や誘導
・効果係	1～2名	音楽やマイクの準備
・スタンツ	班ごとに用意しておく。会場の暗さや内容の重複への配慮を。	
・準備係(片付け係)	数名	薪やトーチなどの準備

(2) 準備物

①各団体

- ・放送機器
- ・音楽用CD
- ・軍手
- ・懐中電灯
- ・ドラムコード

②自然の家

[各サイト付近パレットに準備してあるもの]

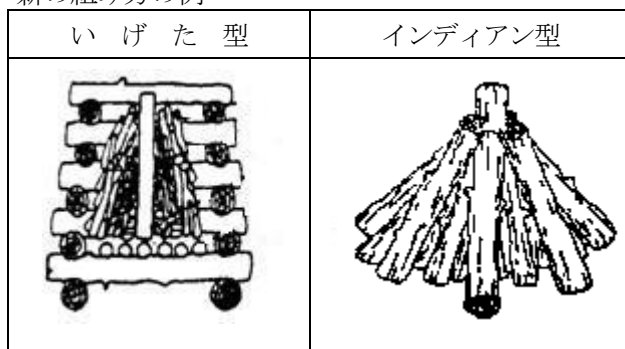
[ロッカー]

[事務室で保管してあるもの]

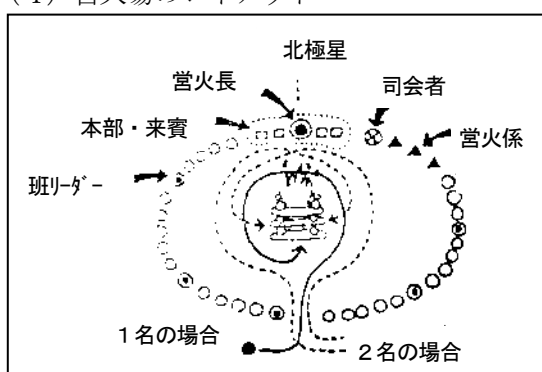
③自然の家で貸し出し出来るもの

- ・薪
- ・トーチ(人数分)
- ・ホース、火ばさみ、バケツ、雑巾、ホウキ、チリトリ、ブルーシート、ドラムコード
- ・点火用灯油(ペットボトル)
- ・倉庫の鍵
- ・火の神・火の子の衣裳・王冠、音楽CD

(3) 薪の組み方の例



(4) 営火場のレイアウト



7 片付けについて

- (1) 終了後には薪を燃やし切り(着火から120分程度)団体の指導者の立ち合いのもと、消火作業を確実に。その際、積み上げた薪を崩して下に広げ、再燃しないよう十分に水をかける。
- (2) 消火後に事務室に終了の連絡をし、団体代表者立ち合いのもと、点検を受ける。また、倉庫の鍵と灯油(ペットボトル)を返却する。
- (3) 翌朝(清掃の時間帯)に、それぞれのキャンプファイアサイトのロッカーにあるほうき、ちりとりを使って後片付けを完全に行う。一輪車やスコップが必要な場合は、「グラウンド倉庫C」横にあるものを使用する。なお、燃え残りは第1サイト横の灰捨て場に捨て、玉砂利がサークルの外に出ている場合には元に戻す。

8 プログラム例 (団体の創意工夫で取捨選択し、プログラムを構成してください。)

部	進 行	係	内 容	備 考
第 1 部 点 火 の 儀 式	1 営火場入場	全 員	・入場して薪を囲み、静かに起立する。	歌
	2 はじめの言葉	進 行	・開始を宣言する。	
	3 夜 の 歌	全 員	♪「遠き山に日は落ちて」を歌う。 (1 番は歌で、2 番はハミングで)	
	4 営火入場	火の神 火の子	・ハミングが始まったら、火の神はトーチを掲げ、火の子を従えて入場する。場内を一周して所定の場所につく。	
	5 点火の言葉	火の神	・トーチを高く掲げて力強く述べる。	
	6 分 火	火の神 火の子	・火の神はそれぞれ「何の火か」を説明して火の子に分火する。	
	7 誓いの言葉	火の子	・トーチを高く掲げて誓いの言葉を述べる。	
	8 点 火	火の神 火の子	一斉に薪に点火する。	
	9 炎 の 歌	全 員	♪「燃えろよ燃えろ」を火が燃え上がるように歌う。	
	10 心 の 歌 (第 1 部終了を告げる)	全 員	♪心にしみる歌力強く明るい歌などを歌う。 「若者たち」「手のひらに太陽を」等	
第 2 部 親 睦	ス タ ン ツ (第 2 部終了を告げる)	全 員 班	◎演出を工夫して、全員が交流を楽しむ。 ・各班の演技を披露する。 ・楽しい歌やシンギングゲームをする。 ・全員でダンスやゲームをする。 (間を空けないよう気をつける)	小 道 具
第 3 部 結 び の 儀 式	1 静かな歌	全 員	♪「カントリーロード」や「遠くへ行きたい」など静かな歌を歌う。	歌
2 夜話 (営火長の話)	営火長	・印象深い、心の糧になる話をする。		
3 黙 想	全 員	・火の前で、目を閉じて未来について思う。		
4 決意の言葉	代 表	・これからの前途について誓う。		
5 別れの歌	全 員	♪「今日の日はさようなら」など、別れにふさわしい歌を歌う。		
6 おわりの言葉	進 行	・感謝をこめて、終了を宣言する。		

※「営火退場」を入れることもある。

※「点火の言葉」例

今、ここ志津川自然の家において、私たちはつどいの火を焚こうとしています。暗闇の中に燃える火、それは私たちの望みであり、友情の「ともしび」です。そして、「愛の力」でもあるのです。私たちは、この神秘の火を心の奥底におさめ、明日への新しい力として、自分や友達、社会のために燃やし続けましょう。

※「誓いの言葉」例

- (例1) 私たちはこの……で得た心と心の結びつきを生涯大切にすることを誓います。
 (例2) 私たちはこの……における活動を通じて健全な心身をつくり、自律協同の精神を体得するために努力することを誓います。
 (例3) 私たちは自然を友に、たくましく自らをきたえ、社会生活の一員として今後とも立派に育つことを誓います。
 (例4) これは「感謝の火」です。私たちは……することを誓います。これは「友情の火」です。私たちは……することを誓います。これは「協力の火」です。私たちは……することを誓います。これは「奉仕の火」です。私たちは……することを誓います。

※ 強風や落雷等気象条件により、所の判断で中止いただく場合があります。

※ 貸し出し用CDの内容「遠き山に日は落ちて」 「燃えろよ燃えろ」
 「一日の終わり(星影さやかに)」 「今日の日はさようなら」